



労働政策研究報告書 No. 149

2012

JILPT : The Japan Institute for Labour Policy and Training

成人キャリアガイダンスの多様なニーズと そのあり方に関する調査研究

労働政策研究・研修機構

成人キャリアガイダンスの多様なニーズと そのあり方に関する調査研究

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

30～40代を中心とするミドル層を対象としたキャリアガイダンスに関する研究は、若年層に対するキャリアガイダンスの豊富な研究蓄積に比して、必ずしも十分に行われてこなかった。しかし、労働市場の中核を担う30～40代の労働者のキャリアおよびその形成支援については、日本国内および先進各国において常に関心が払われており、その重要性が繰り返し指摘されてきた。

従来、ミドル層は、職場においては働き盛り、家庭においては出産・育児・子育てと様々な社会的責任を負うために多忙であり、キャリアガイダンス・ニーズが相対的に少ない層と考えられてきた。しかし、現在、日本における30代そして40代は、必ずしも以前のように仕事を持ち、家庭を築いている訳ではない。30～40代の失業率の増加、およびこの年代の男性の就業率の低下と女性の就業率の上昇、さらには未婚率の上昇と独身者の増加など、最近の30代～40代の仕事と家庭をめぐる環境には著しい変化が生じている。こうした環境変化によって、日本のミドル層には、従来、想定していなかった新たなキャリアガイダンス・ニーズが生じている可能性がある。そして、この年代の新たなキャリアガイダンス・ニーズに対応すべく、今後、成人キャリアガイダンスの新たなあり方が求められることも想定される。

以上の問題意識に基づき、本報告書では、30代・40代の正規就労者・非正規就労者・無業者・求職者および専業主婦層を対象に、現在、いかなる状況にあるミドル層がどのようなキャリアガイダンス・ニーズを抱いているのかについて調査を行った。その上で、現在の就労状況、これまでのキャリア、心理的特徴その他との関連を検討することにより、30～40代のミドル層のキャリアガイダンス・ニーズの実情とその対応のあり方についてとりまとめを行い、政策的な示唆を行った。

本報告書が、今後の成人キャリアガイダンスの基礎的なデータを提供するとともに、新たなキャリアガイダンス・ニーズおよびその支援体制を考える上での一助となれば幸いである。

2012年 3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山口 浩一郎

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆担当章
下村 英雄	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第1章1、2 第5章、第7章、 第8章
室山 晴美	労働政策研究・研修機構 主任研究員	第2章、第3章
深町 珠由	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	第4章
高久 聡司	労働政策研究・研修機構 アシスタントフェロー	第6章、第1章3
川崎 友嗣	労働政策研究・研修機構 特別研究員 (関西大学教授)	補章

生涯キャリア発達研究会

松本 安彦	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門統括研究員
(西村 公子	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門統括研究員)
		(2011年7月まで)
松本 純平	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門特任研究員
長縄 久生	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門 アドバイザーリサーチャー
室山 晴美	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門主任研究員
深町 珠由	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門副主任研究員
下村 英雄	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門主任研究員
川崎 友嗣	労働政策研究・研修機構	キャリアガイダンス部門特別研究員 (関西大学教授) (2009年4月より)
小松 恭子	厚生労働省能力開発局育成支援課	キャリア形成支援室室長補佐 (2011年4月より)
古田 詩織	厚生労働省能力開発局育成支援課	キャリア形成支援室 キャリアコンサルティング係長

目 次

第1章 問題意識・目的・方法	1
1. 問題意識	1
2. 目的	5
3. 方法	6
第2章 性別・年齢階級別にみたキャリアガイダンス・ニーズ	14
1. 本章の目的	14
2. 方法	14
3. 結果	15
4. まとめ	32
第3章 学校卒業後のキャリアとキャリアガイダンス・ニーズ	35
1. 本章の目的	35
2. 方法	35
3. 学校卒業後のキャリアに関する検討	36
4. 学校卒業後のキャリアとキャリアガイダンス・ニーズとの関連の検討	52
5. まとめ	55
第4章 現在の職業生活とキャリアガイダンス・ニーズ	58
1. 本章の目的	58
2. キャリアガイダンスに関する顕在ニーズの分析	59
3. キャリアガイダンスに関する潜在ニーズの分析	70
4. キャリアガイダンス・サービスのニーズと今後の活用へ向けて	85
第5章 現在の職業意識とキャリアガイダンス・ニーズ	94
1. 本章の目的	94
2. 「普段の生活で目標としていること」別にみたキャリアガイダンス・ニーズ	95
3. 自尊感情とキャリアガイダンス・ニーズ	107
4. 抑うつ傾向と自尊感情とキャリアガイダンス・ニーズ	114
5. 現在の職業意識とキャリアガイダンス・ニーズ（結果のまとめと政策的示唆） ..	122

第6章 職業情報とキャリアガイダンス・ニーズ	126
1. 本章の目的	126
2. 職業情報の内容に対するニーズ	127
3. 「職業情報メディア」に対するニーズの傾向	131
4. 利用してみたいメディアとその規定要因	139
5. おわりに	149
第7章 成人キャリアガイダンスの多様なニーズと提供のあり方	151
1. 本章の目的	151
2. 対象層をいかに区分けするのかーセグメント論	152
3. キャリアガイダンスをいかに提供するのかーデリバリー論	161
4. キャリアガイダンスの費用を利用者はどの程度負担できるのかーコスト論	170
5. 本章のまとめと示唆	178
第8章 各章のまとめと示唆	182
1. 各章の結果のまとめ	182
2. 本研究の結果に基づく政策的示唆	188
3. 今後の課題	189
補章 成人キャリアガイダンスのあり方について	190
1. 本研究の意義ー多様化するミドル層におけるガイダンス・ニーズー	190
2. 30～40代とはーキャリア発達からみた特徴ー	191
3. 必要なサービスー求められるアプローチー	192
4. 今後の課題ー「選ぶ」ことと「育てる」ことー	194
資料	
調査票	199
単純集計結果	211